

同窓会と懐かしき卒業生

9月1日(土)に現代社会学科の同窓会が生協食堂であった。1期生からこの3月に卒業した8期生までの卒業生と5名の教員が参加して、まさに

「盛況」な同窓会となった。同窓会の会計報告などが行われ、吉田さんが乾杯の挨拶をした。その後は、酒や食事を楽しみながら、懐かしき



卒業生との懇談がつづいた。



同窓会のさ

いごは記念撮影である。記念写真は同窓会 HP (<http://gensya.hp.infoseek.co.jp/>) に掲載されている。撮影の準備をしている3人が同窓会を支えてきた幹事であり、設立から現在まで熱心に活動してきた。私の

「学部長お疲れさん会」のときに設立の動きがあり、「同窓会をどうそうかい」と話したことがある。



その後、会場を移しての「二次会」となり、夜遅くまで交流がつづいた。

人文社会学部ができ11年経ち、多くの卒業生を送り出してきた。こうして懐かしき卒業生と語り合えるのは、教師として嬉しいかぎりだ。大学が法人化して、なにかと学部や学科に対する風当たりが厳しくなっている。大学改革の名のもとに「再編」話も聞こえてくるが、11年余りの歴史と「蓄積」は重いものがある。

1期生から8期生までの顔を眺めていて、つくづく良き学生に恵まれてきたと思う。優秀な学生たちが入学し、現代社会学科に愛着と誇りをもって卒業して、幅広い分野で活躍している。卒業生のネットワークも広がりつつある。わが現代社会学科の持続的な発展を願ってやまない。

(2007年9月12日 記)